

2025年3月5日

公益財団法人 新聞通信調査会

## 2024 年度ボーン・上田記念国際記者賞受賞者決定

公益財団法人新聞通信調査会は 5 日、2024 年度のボーン・上田記念国際記者賞をロシアのウクライナ侵略を現地で長期取材し市民の目線から戦争の実態をルポした読売新聞ローマ特派員の倉茂由美子（くらしげ・ゆみこ）記者と、大国間のせめぎ合いや地球温暖化で環境が激変する北極圏を長期取材した時事通信外信部編集委員の出井亮太（でい・りょうた）記者の 2 人に授与すると発表した。

選考委員会の総括講評は次の通り。

最終の 2 次選考に残った 5 作品のテーマは「ウクライナ」が 3 点、「ガザ」と「北極圏」が各 1 点でした。緊迫する国際情勢を反映し、ウクライナとガザに作品が集中した感があります。

力作ぞろいでも選考委員諸氏は授賞作を絞るのに苦労し、審査は熱を帯びました。

候補作はスクープとしての重要性や視点の斬新さなどで判断されますが、同時に、国際情勢の変化や応募の仕方などが審査結果に影響する場合があります。

残念ながら受賞を逸した小玉原一郎さんの「ウクライナの勝利計画」「ゼレンスキー・インタビュー」は海外メディアによる引用も豊富で、文句なしのスクープでした。ただ前者はその後の情勢が変化したことに加え、日本国内でなぜ大きい報道にならなかったのか疑問が残りました。また審査対象の作品がこの 2 点だけだったのは残念でした。作品は 10 点まで提出可能で、幅広い取材状況を示すことができます。

同じく吉田成之さんの作品「北朝鮮軍のロシア派兵」も重要なスクープだとの指摘がありました。しかしそうであれば海外メディアがなぜ転電や引用をしなかったのか疑問が残りました。

授賞作は総合的な評価の結果、決まったと言えます。市民の虐殺や子供の拉致、性暴力などウクライナの戦争被害者の激しい体験を徹底取材で掘り起こした倉茂由美子さんの記事には、読者に訴える力強さがありました。

北極圏への長期にわたる現地取材で、過熱する覇権争いや資源争奪戦、さらに

地球温暖化の問題を詳述した出井亮太さんの作品も称賛に値します。北極圏8カ国で構成する北極評議会はロシアのウクライナ侵攻後、政府間の協力が滞っていると指摘しています。

選考委員会委員長  
春名 幹男



倉茂記者は 1982 年、埼玉県久喜市出身の 42 歳。津田塾大学大学院国際関係学研究科修士課程修了。2008 年 4 月、読売新聞東京本社入社。千葉支局（08～13 年）、東京本社社会部（13～16 年）、カイロ特派員（16～19 年）、社会部（19～22 年）を経て 23 年から現職。（生年月日は 1982 年 4 月 24 日）



出井記者は 1977 年、京都市出身の 47 歳。2001 年に米インディアナ大学でジャーナリズムの学士、04 年にハワイ大学で国際政治学の修士。米領グアムの英字紙に勤務後の 06 年時事通信社入社。津支局、社会部を経てニューデリー特派員（13～17 年）、ワシントン特派員（17～22 年）として米国防総省などを取材。22 年から現職。（生年月日は 1977 年 10 月 20 日）

ボーン・上田記念国際記者賞は、日米協力による自主的な世界ニュース通信網の確立に献身したマイルズ・W・ボーン元 UP 通信社（後の UPI 通信社）副社長、および同氏と親交のあった上田碩三・元電通社長が 1949 年に東京湾の浦安沖で遭難したのを惜しみ、また両氏の功績を顕彰して 1950 年に設けられた。優れた国際報道を通じて国際理解の促進に顕著な貢献のあった記者個人に贈られる。

（注 1）マイルズ・W・ボーン → Miles・W・Vaughn

（注 2）受賞者の顔写真をご希望の場合は、chosakai@helen.ocn.ne.jp までメールを送りいただければ返信に添付します。

（※）過去の受賞者については財団のホームページ(<https://www.chosakai.gr.jp/>)に掲載しています。

#### ◆授賞式と記念講演会

授賞式は3月21日（金）午後5時半から東京・内幸町の日本記者クラブで開催します。当日、取材を希望する方は事前に当財団までお問い合わせください。受賞者講演会は翌3月22日（土）午後1時半から横浜の日本新聞博物館（ニューパーク）で開催します。参加方法などは主催者の新聞博物館がホームページで近く明らかにする予定です。

◆**新聞通信調査会**とは 新聞社や通信社をはじめとするメディアの発展に寄与することを目的にジャーナリズムやマスコミュニケーションの調査・研究をしている公益財団法人です。同盟通信関係資料のデジタルアーカイブ、報道写真展、世論調査、シンポジウム、講演会、月刊誌『メディア展望』発行、ボーン・上田記念国際記者賞授与、出版補助、通信社ライブラリー運営などさまざまな公益事業を実施しています。

名 称 : 公益財団法人 新聞通信調査会  
英 文 名 称 : Japan Press Research Institute (略称 JPRI)  
設立年月日 : 1947 年 12 月 15 日  
公益財団法人移行 : 2009 年 12 月 24 日  
代 表 者 : 理事長 西沢豊